



“信頼のパートナー”

「我々のビジョンは、共有された価値や原則が確保され、全ての国が平和及び繁栄を追求でき、民主主義、法の支配、良い統治並びに人権及び基本的自由の尊重の原則が守られる世界を目指すこと。我々は、相互信頼に基づき、ASEAN一体性と中心性を支持しつつ、次の3つの柱の下で、互恵的な包括的戦略的パートナーシップを強化する。」

実施計画に記載されている主要協力分野

世代を超えた心と心のパートナー	未来の経済・社会を共創するパートナー	平和と安定のためのパートナー
<ul style="list-style-type: none"> 青年交流 文化交流 スポーツ 観光 語学 教育 科学技術 ASEAN事務局支援 	<ul style="list-style-type: none"> 経済 金融 連結性 気候変動 エネルギー・重要鉱物 環境 防災 保健 デジタル 宇宙 農業・食料システム 社会課題 	<ul style="list-style-type: none"> 法の支配 海洋安全保障 防衛 WPS・YPS 核軍縮 人権 テロ・国際犯罪 サイバーセキュリティ 偽情報 出入国管理 平和構築



世代を超えた心と心のパートナー



青年交流

(JENESYS及び東南アジア青年の船)

概要 (JENESYS) (Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths)

・このプログラムは、日本とASEAN青年の相互信頼と理解を促進し、将来の友好・協力の基盤を築くことを目的とする事業。

具体的な取組

・ 招聘・派遣・オンライン交流プログラムを通じて、政治、経済、社会、文化、スポーツなど様々な分野で国際的かつ世代を超えた人と人とのつながりを広げている。



日本ASEAN学生会議

概要 (東南アジア青年の船：SSEAYP)

・日本政府とASEAN各国政府との共同事業として1974年に発足した歴史ある事業。船での共同生活や寄港地での活動を通じ、国際社会で指導性を発揮できるリーダーを育成。

具体的な取組

- ・ 2024年度はコロナ禍を経て5年ぶりに船での事業を復活させ、以下のとおりプログラムを実施予定。
- － 期間・日数：11月4日～12月11日（38日間）
- － 参加者：日ASEAN各国青年約160名
- － 寄港地：ホーチミン市（ベトナム）、ジャカルタ（インドネシア）
- － ディスカッションテーマ：「日ASEAN友好協力50周年に関する共同ビジョン・ステートメント2023信頼のパートナー実施計画」にて各国首脳が合意した事項から6つの分野を選定。



文化交流

(次世代共創パートナーシップ –文化のWA2.0–)

概要

・日本ASEAN友好協力50周年（2023年）を契機に、日本とASEANの次世代の担い手を中心として1,000万人以上が裨益する包括的な人的交流の取組を国際交流基金事業として立ち上げ、今後10年間で集中的に実施。

具体的な取組

・ 双方向の知的・文化交流事業

ASEAN域内のシンクタンク等と連携してグローバルな共通課題についての対話を促進するとともに、中学・高校の教員の日本招へいや若者間の交流事業も実施。また、美術・演劇・音楽・文学・映像といった分野で、日本とASEAN間の人的ネットワークの構築や作品の共同制作を促進・支援して、次世代の架け橋となる人材を育成。

・ 日本語パートナーズ事業

ASEAN各国の中学・高校等に「日本語パートナーズ」を派遣して日本語の授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うとともに、受入校等から教師や生徒を日本に招へいして研修等を実施。



日ASEANユースフォーラム



日本映画祭（インドネシア）



日本語パートナーズ（ベトナム）



世代を超えた心と心のパートナー



スポーツ (チェンマイ宣言)

概要

- ・日本ASEAN友好協力50周年を記念し、2023年9月の第4回日ASEANスポーツ大臣会合で全会一致採択。
- ・2030年に向けた日ASEANスポーツ協力の拡大を目指し、質の高い体育教員育成、女性・障害者スポーツの推進、アンチ・ドーピング活動支援に加え、新たにスポーツマネージメント分野での協力を追加。

具体的な取組

- ・ 質の高い体育教員教育および障害者スポーツ推進のための調査および各国アクションプランの策定・実施支援。
- ・ スポーツにおけるジェンダー平等推進のための調査および各国アクションプランの策定・実施支援。
- ・ スポーツ指導者育成システム構築のための政策立案・能力開発支援。
- ・ ASEAN Football4SDGsプロジェクトの推進（JAIF）
- ・ 東南アジア地域アンチ・ドーピング機構の支援。



ASEAN Para Gamesへの審判団派遣



ジェンダー平等推進事業ワークショップ



観光

概要

- ・2023年10月に東京で日ASEAN観光大臣特別対話を開催し、「持続可能な観光」の実現及び「相互交流」の更なる促進に向けた共同声明を採択。

具体的な取組

- ・ 「持続可能な観光」に関するベストプラクティスの共有に向けた、ASEAN諸国との連携。
- ・ 日本ASEANセンター・JICA等の関係機関と連携し、キャパシティビルディング研修、観光分野における人材交流の実施及び観光商品開発・質の向上に関する協力。
- ・ 多様な分野にわたる観光交流の拡大。





世代を超えた心と心のパートナー



人的交流、科学技術・学術

概要

・相互の信頼及び理解を一層強化し、重層的な交流及びネットワークを育むため、緊密な人的交流・人材育成を推進する。

具体的な取組

- ・ **アジア高校生架け橋プロジェクト+（プラス）** においてASEANからの招へい人数の増加、留学生受入れ及び派遣のための**奨学金**の実施、留学生の戦略的受入れを行う海外拠点の設置及び関係機関との連携推進、質の保証を伴った大学間交流促進のための国際共同学位プログラム等の形成支援及びASEAN+3域内の高等教育の流動性・質保証に関する会合における学生交流の活性化のための方策の検討促進、留学生受入れ・定着促進のためのシステム構築支援。
- ・ **アタッチメント・プログラム** 修了生向け修士号取得プログラムの開始、アタッチメント・プログラムへの東ティモールの参加。
- ・ 行政官交流の開始及び**SEAMEO**（東南アジア教育大臣機構）との連携強化と共同プロジェクトの推進。
- ・ 「**日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業(NEXUS)**」において、人材交流、共同研究及び拠点機能強化を実施。
- ・ 科学技術分野での青少年交流として「**さくらサイエンスプログラム**」を継続的に推進。
- ・ 「**外国人特別研究員**」において、博士号取得前後の若手研究者を日本に招へい。2025年度にASEAN・アフリカ地域の研究者の招へいに主眼を置いた「**ASEAN/アフリカ短期**」プログラムを開始。
- ・ 日ASEAN文化大臣会合で合意された「**文化芸術協力に関する作業計画**」（2022年1月）（文化遺産保護分野や著作権分野での協力等）及び映画分野等の交流を推進。



Hội ngày đồng chí tại sân Chanh
 Trải nghiệm trong trang phục truyền thống của Nhật Bản - Kimono và nghệ thuật đa phương
 Tagum 4444
 @emerys_boston
 2023/11/28



JICE





未来の経済・社会を共創するパートナー



経済

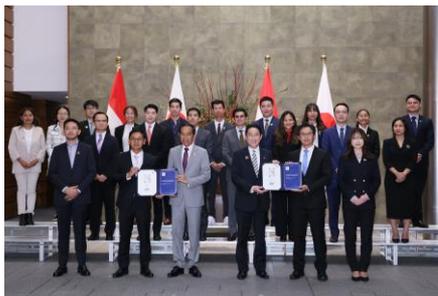
(日ASEAN経済共創ビジョン)

概要

・信頼をベースにした「共創」の観点から、これから50年を見据えた未来を担う産業を共に創るための“ビジョン”と、それを踏まえた日ASEANの政府による具体的な取組を記載した“プラン”について2023年8月22日ASEAN経済大臣会合で合意。

具体的な取組

- ・次世代を担うビジネスリーダー等のネットワーク強化に向け、日ASEANヤング・Z世代ビジネスリーダーズサミットを2023年12月に開催し、ビジネスリーダーが日本に集結。
- ・ASEANのビジネス環境基盤整備に向け、ERIA アジア・ゼロエミッションセンターやデジタルイノベーション・サステナブルエコノミーセンター(E-DISC)等を立ち上げた。
- ・日ASEANの協業などオープンイノベーションの促進に向け、2024年9月21日ASEAN経済大臣会合にて、AIイノベーション共創ロードマップを策定することを紹介。
- ・次世代自動車協力として、日ASEAN次世代自動車産業マスタープランを策定中



金融

概要

・2024年5月に開催されたASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議において、共同声明を採択。2014年以来の新たなファシリティである「緊急融資ファシリティ（RFF）」の創設に正式合意。

・日本が主導する災害リスクファイナンス（DRF）を通じて、被災国の迅速な復旧に貢献。

具体的な取組

- ・ASEAN諸国が高い期待を寄せ、日本が昨年の共同議長下で議論を主導してきた、自然災害やパンデミックなどの外生ショックに対して迅速に発動する新ファシリティ「緊急融資ファシリティ（RFF）」創設を主導。
- ・ASEAN+3マクロ経済リサーチオフィス（AMRO：経済サーベイランス機関）について、重要性が増している金融分野等のテーマ別サーベイランスを担当する新設次長の着任を決定。
- ・アジア債券市場育成イニシアティブ（ABMI：現地通貨建て債券市場の育成）や、DRFについて、具体的進捗を牽引。
- ・2024年9月の台風11号（Yagi）による被害を受けた被災国に対し、DRFの活用を通じた保険金を拠出。



ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁会議（ジョージア）



未来の経済・社会を共創するパートナー



交通

(ルアンパバーン・アクションプラン)

概要

- ・2023年11月に第21回日ASEAN交通大臣会合を開催。
- ・日ASEAN友好協力50周年に加え、交通連携20周年を記念し、今後10年間の交通分野の連携をさらに強化するための新たなアクションプランを採択。

具体的な取組

- ・「強靱なサプライチェーン」、「人と人との連結性強化」、「脱炭素化・持続可能な交通」、「包摂的でアクセシブルな交通」及び「安全・安心な交通」の5つの柱のもと、航空、海上交通、陸上交通、交通円滑化の各分野において、人材育成や技術支援などの個別プロジェクトを推進。
- ・本年11月には、日ASEAN交通連携のもと、航路標識要員の人材育成や航空分野の脱炭素化支援に取り組む新たなイニシアティブを採択する予定。



インドネシア
ジャカルタMRT南北線



フィリピン・マニラ
GNSS教育訓練



航路標識の点検



連結性

(日ASEAN包括的連結性イニシアティブ)

概要

- ・2023年9月の日ASEAN関連首脳会議にて発表。
- ・ASEANにおける連結性強化の取組をハード・ソフト両面で一層強化するもの。2.8兆円規模の交通インフラ整備支援を実施中、今後3年間で5,000人の人材育成支援を実施。

具体的な取組

- ・ **鉄道や港湾、空港など、陸海空の交通インフラの整備**
 - マニラ首都圏地下鉄・ジャカルタ首都圏都市高速鉄道東西線などのプロジェクトの進展
- ・ **デジタル分野や海洋における協力の推進**
 - デジタル分野のオファー型協力の開始（カンボジア）
 - 日ASEANサイバーセキュリティ能力構築センター（AJCCBC）を通じた協力
- ・ **サプライチェーンや電力連結性の向上支援**
 - ASEANエネルギーセンター（ACE）との協力
- ・ **幅広い分野における人材交流や研修事業などの実施**
 - 大阪・関西万博への研修員の受入れ



インドネシア：都市高速鉄道の建設



カンボジア：オファー型協力案件の開始



AJCCBCでのJICA研修



未来の経済・社会を共創するパートナー



エネルギー・気候変動

(アジア・ゼロエミッション共同体 (AZEC))

概要

・2022年1月、アジア各国が脱炭素化を進めるとの理念を共有し、エネルギー・トランジションを進めるために協力することを目的として日本が提唱。11パートナー国間で、2023年3月に第1回閣僚会合を開催。

・「多様な道筋を通じたカーボンニュートラルの達成」、「脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障の同時実現」といった原則の下、プロジェクトと政策協調の両輪で地域の脱炭素化を推進。

具体的な取組

- ・2023年12月18日、日ASEAN友好協力50周年特別首脳会議の機会を捉え、**第1回AZEC首脳会合**を日本で開催。「多様な道筋を通じたカーボンニュートラルの達成」、「脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障の同時実現」といった考え方を、AZEC原則として確認。
- ・2024年8月21日、**第2回AZEC閣僚会合**をインドネシアで開催。電力・運輸・産業部門の脱炭素化を推進するイニシアティブに合意したほか、地域の脱炭素化のためのプラットフォームとなる「アジア・ゼロエミッションセンター」をERIAに立上げ。約70件のMOUも発表。官民連携の下、具体的な脱炭素プロジェクトが進行中。



第1回AZEC首脳会合



第2回AZEC閣僚会合



アジア・ゼロエミッションセンター立ち上げ式



環境

(日ASEAN気候環境戦略プログラム (SPACE))

概要

・2023年8月、日ASEAN環境気候変動閣僚級対話において発足。気候変動・汚染・生物多様性損失という、前例の無い3つの地球規模の危機に取り組む。

具体的な取組

・気候変動

気候関連財務情報開示、福岡方式処分場メタン削減、官民連携を通じた早期警戒警報システム導入（ASEAN諸国にてニーズ等調査を実施）。

・汚染

プラスチック汚染対策強化（海洋プラスチックごみマッピングデータベース AOMI2024年5月提供開始）、e-waste適正管理強化（関連法令整備、ビジネス連携等）。

・生物多様性損失

生物多様性国家戦略の改定支援及びその実施に関する好事例の共有等。



<https://www.ewsi.green/>

EWS協議会ウェブサイト



<https://aomi.env.go.jp/>

AOMIトップページ



二次的自然の利用



未来の経済・社会を共創するパートナー



防災

概要

・「日ASEAN防災行動計画2021-2025」の取組推進。

具体的な取組

- ・ 気候変動予測を洪水・地すべりリスク評価に統合した災害リスク軽減に関するASEANプロジェクト（ASEAN DRR-CCA）。
- ・ 災害リスク軽減のための革新的政策と技術に関する日ASEAN官民防災セミナー。
- ・ マレーシアにおけるICTを活用したCBDRMパイロット事業の実施
- ・ 世界災害共通番号（GLIDE）普及促進プロジェクト。
- ・ ASEAN緊急災害ロジスティック・システム（DELSA）の強化。
- ・ ASEAN緊急対応評価チーム（ASEAN-ERAT）の能力強化。
- ・ AHAセンター幹部研修コース・緊急防災リーダーシップ事業（ACE-LEDMP）。
- ・ 「ASEAN防災緊急対応協定（AADMER）作業計画2021-2025」中間レビュー。
- ・ 「AADMER2026-2030」策定支援。
- ・ ASEAN防災人道支援調整（AHA）センターに日本人専門家を派遣予定。



兵庫県庁でのACE-LEDMP研修



CBDRM+ICT事業 地域コミュニティ向けワークショップ



デジタル

概要

・ASEAN域内のDXや、コネクティビティ、サイバーセキュリティ等の推進のため、ASEANへの「広島AIプロセス」の拡大、Open RANの活用及びサイバーセキュリティに関する能力構築を支援。

具体的な取組

「日ASEANデジタル大臣会合」（写真：中央は渡辺総務副大臣）で策定した「日ASEANデジタルワークプラン2024」に基づき主に以下の取組を推進。

- ・ 2024年5月、OECD閣僚理事会の場で一部のASEAN加盟国も含めて「広島AIプロセス・フレンズグループ」を立ち上げ、AIガバナンスの取組における連携を推進。
- ・ **Open RAN**の活用によりASEAN各国における5Gネットワークのサプライチェーンの強靱化を図るため、ASEAN各国との協力覚書の締結や、総務省予算による実証事業等を実施。
- ・ 「日ASEANサイバーセキュリティ能力構築センター（AJCCBC）」によるサイバーセキュリティに関する定期的な研修を通じ、ASEAN各国の政府職員や重要インフラ事業者等の能力構築を支援。



第3回 日ASEANデジタル大臣会合（シンガポール）



未来の経済・社会を共創するパートナー



農業（日ASEANみどり協カプラン）

概要

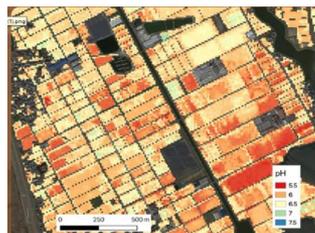
- ・2023年10月の日ASEAN農林大臣会合にて採択。
- ・ASEAN地域における、強靱で持続可能な農業・食料システムの構築と食料安全保障に貢献するため、我が国の技術や経験を活かした協カプロジェクトを実施。

具体的な取組

- ・フィリピンにおいて、水田メタン排出削減に資する間断かんがい技術 (AWD)に係るJCM方法論案を完成・公表。今後ASEANの他国においてもJCM方法論の策定を普及させる予定。
- ・衛星データを活用した農地の自動区画化・土壌診断による肥料の削減について実証成果を発表し、普及展開（タイ）。
- ・ICT水管理を活用した間断かんがい等の実証を今年度中に開始予定（カンボジア、ラオス、ベトナム）。



ICT水管理システム



衛星画像による土壌診断



その他

具体的な取組

- ・ERIAの研究を通じて**発達障害者**に関するASEAN地域の保健政策調査を実施し、政策ニーズを把握。また、発達障害者の親の生活の質を高めるガイドラインを開発するなどの実践活動を通して、当事者、専門家、政府関係者間の交流を促進。
- ・**ASEAN感染症対策センター** (ACPHEED) の事務局に、日本人専門家を派遣予定。
- ・日ASEANのデジタル関連の**スタートアップ・中小企業**の情報を統合するデジタル・プラットフォーム (JADi) の構築、スタートアップ・中小企業を対象としたデジタル技術向上に関する能力構築を実施。
- ・**JBICグローバル投資強化ファシリティ**による日本企業への地域への投資促進。





平和と安定のためのパートナー



法務

(特別法務大臣会合共同声明・ワークプラン)

概要

・2023年7月の日ASEAN特別法務大臣会合において、今後の日ASEAN協力の指針となる「共同声明」を採択。日ASEANが法務分野で政治文書を採択したのは史上初。

具体的な取組

- ・日ASEAN高級法務実務者会合(日ASLOM)協議の定期開催(本年10月に第3回を開催予定)。
- ・国際仲裁及び調停の活用強化。
- ・日ASEAN刑事司法セミナーを創設(本年12月に第1回を開催予定)。
- ・アジア太平洋刑事司法フォーラムの定期開催(本年6月に第3回を開催)。
- ・計画的かつ組織的な人材交流スキームの策定。
- ・国際知財司法シンポジウム(JSIP)のフォローアップセミナーの開催(本年12月に開催予定)。
- ・ASEAN諸国等の留学生を対象とした「ビジネスと人権」に関する共同研究を実施(本年8月に第1回を実施)。
- ・JAIFの支援により、AICHRとSEANFがワークショップを開催。



「ビジネスと人権」に関する共同研究



アジア太平洋刑事司法フォーラム



防衛

(防衛協力強化のための日ASEAN大臣イニシアティヴ：ジャスミン)

概要

・日ASEAN防衛協力の指針「ビエンチャン・ビジョン2.0」の精神に則り、防衛分野における協力関係を新たな段階へと進めるため、2023年11月の日ASEAN防衛担当大臣会合で「防衛協力強化のための日ASEAN大臣イニシアティヴ：ジャスミン」を提示。

※ジャスミン4つの柱：①日ASEANで力や威圧によるいかなる一方的な現状変更も許容しない安全保障環境の創出、②日ASEAN防衛協力の継続と拡充、③日ASEAN防衛関係者の更なる友情と機会の追求、④ASEAN・日本・太平洋島嶼国の連携の支持

具体的な取組

- ・「第6回日ASEAN及び東ティモール乗艦協力プログラム」と「第2回太平洋島嶼国乗艦協力プログラム」の同時開催：護衛艦「いずも」艦上で、海洋に関する国際法や女性・平和・安全保障(WPS)に関するセミナー等実施。相互理解・人的関係の構築を促進。(2024.6)
- ・「第4回プロフェッショナル・エアマンシップ・プログラム(PAP)」：ASEAN諸国の空軍士官を対象に、空の状況把握に関するセミナーや部隊研修等実施。「法の支配」の貫徹等に貢献。(2024.7)
- ・「第3回日ASEANサイバーセキュリティ能力構築支援」及び「第2回サイバー国際法セミナー」：セミナーや実習を通じてASEAN防衛当局サイバーセキュリティ要員のインシデント対応能力向上に寄与。また、法の支配に対する共通理解・認識を促進。(2024.7)



乗艦協力プログラム(護衛艦「いずも」)



PAP(東京)



サイバーセキュリティ能力構築支援(ベトナム)



平和と安定のためのパートナー



国際犯罪

概要

・2024年8月に第9回日ASEAN国際犯罪閣僚会議をラオスで開催。

具体的な取組

- ・日ASEANでサイバー犯罪、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺を含む組織的詐欺、テロ等の国際犯罪対策について意見交換。
- ・組織的詐欺等の国際犯罪対策における協力強化や拉致問題を強調する共同声明を採択。



その他

具体的な取組

- ・海上法執行に関する研修の実施。
- ・防災・災害対応分野におけるWPS促進を目的とした能力構築のワークショップを開催予定。
- ・地雷・不発弾対策の推進（メコン域内南南協力案件）。



ラオスでの不発弾除去機関（UXO Lao）の能力強化支援